

将来を見据えながら、果敢にまちづくりを

登米市長 熊谷盛廣

新年明けましておめでとうございます。市民皆さまは、新年の希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

本市にも冬の使者である白鳥が飛来し、凜とした寒さに包まれる中、本年の市政運営に向けて一層気が引き締まる思いです。

本市の昨年を振り返りますと、新たに「ひだまりタウンよねやま」を宅地造成整備し、分譲を開始するとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボート競技参加国事前キャンプ地や全国規模のボート競技大会の誘致をはじめ、各種スポーツや強化合宿などを支援する拠点施設として、長沼ボート場クラブハウスを整備したところです。今後、当施設の利活用による選手の競技力向上、長沼をフィールドとする交流人口の拡大を図っていきます。

また、昨年はトライデントオサベフーズ様、エスファクトリー東北様の本市への立地が決

定し、食材の宝庫である本市の産業振興や定住促進につながるものと大いに期待しているところです。さらに、子育て世代の経済的負担を一層軽減するため、子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大し、子育て環境の充実を図るとともに、女性が家庭、職場や地域で、元気にいつまでも生活できるような女性会議を設置し、女性が活躍できる社会の実現に向けた取り組みも推進してまいりました。これらの取り組みに加え、住まいサポート事業の住宅取得などによる移住者や定住者の支援事業により本市に移住された人は、平成30年10月末で214人となり、なお一層推進してまいりたいと考えています。

昨年11月には、国の重要無形民俗文化財に指定されている「米川の水かぶり」がユネスコ無形文化遺産に登録され、本市にとりましては非常に喜ばしく明るい話題であると感じています。急速に変化する社会情勢の中で、本市の持続的な発展を実現

するため、行政ニーズを的確に捉えながら、市民皆さまの目線で、皆さまが主役であるという基本理念のもと、市民生活の根幹をなす医療体制の整備をはじめ、安心して生き生きと暮らすことのできる環境の実現に向けた市政運営に取り組んでいくことが重要です。

三つの目で現在と未来に責任を持つ議会

登米市議会議長 及川昌憲

明けましておめでとうございます。市民の皆さまは、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平成史の30年は、激動・激変の時代でした。ベルリンの壁の崩壊による東西統一、多発するテロやリーマンショック、日本では阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件、東日本大震災、福島第一原発事故、自然の脅威と災害による不安といった悲劇の時代でした。

一方で、パソコン、カーナビ、薄型テレビ、スマートフォンなど、高度な技術革新は私たちの生活のありようを大きく変えました。

本市は、平成17年に新たなふるさとづくりをスタートさせ14年の歴史を積み重ねてきました。新しい年号を迎える本年、これまでの歩みを検証し、本市の未来をしっかりと築く意志と実践が重要です。「現在と未来に責任を持つ議会」の真価が問われます。平成史の後に続く時代の明日を見るとき、三つの目と力強い行

動の力が求められます。物事を捉えるとき、広く全体を見渡す視点「鳥の目」、細部に注目するミクロの視点「虫の目」、物事の流れや変化を捉える視点「魚の目」で、多角的に物事を見なければなりません。

今後は「持続可能な社会づくり」が大きなテーマになると考えます。持続可能な社会を実現するためには、地域社会の現状をもう一度しっかりと認識することが大切です。行政区、地区、町の問題や課題、良き風習、絆、宝物などきめ細かい地域内の状況や情報を集約します。さらに先進的研究などを活用し、地域社会の未来を予測して「未来カルテ」を提示しながら、地域の皆さまと議論や対話を重ねることが持続可能性を追求するスタートになります。縮小社会の時代に向かう中、地方自治体のミッションはここにあると考えています。

自治は一人一人の市民から出発するものです。「私はこれをやりたい、こう生きたい」「こんな街にしたい」という市民の思いから出発し、みんなの対話によって合意を生み出し、その合意に基づき社会をつくる。市民起点の政策を作り進める事こそ、地方自治体の生命線です。

この本質を中心に据え、議会制民主主義の三つの原理である「代表の原理」「監督の原理」「審議の原理」のもと、26人の議員の多様性を大切に、議員の意見から議会の意見に深化させ「現在と未来に責任を持つ議会」として、三つの目と対話を大切に、市民の皆さまに役立つ政策実現のため、議会力の強化に努めていきます。

本年も、市民の皆さまに分かりやすく、開かれた市議会を目指し「チーム登米市議会」はさらなる改革を進めていきますので、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。結びに、新しい年が市民の皆さま一人一人にとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

年頭のあいさつ

春

熊谷盛廣 市長
Kumagai Morihiro

2019

迎

及川昌憲 議長
Oikawa Masanori